

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第57回

ゼラニウム



初秋から晩秋まで咲きほこるケンノショウコの仲間でアネモネの葉に似たと言う意の学名 *Geranium anemonefolium* がつけられましたが、現在は *G. palmatum* に変更されています。*Geranium* は果実が鶴の口ばしに似る事から、*palmatum* は葉が掌に似る事から付けられました。

本植物は北半球に広く自生しますが、現在は園芸植物として植栽されているようです。同族のケンノショウコは局方品で加水分解型タンニンを多く含むので、下痢止めとして用いられており、本画の植物も同様にタンニン生薬に属すと思われそうですが、薬用に供するとの記述は見られません。

本画は1793年カーチスのボタニカルマガジンに収載されたものです。